

産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく

第18回 新都市社会技術セミナー web会議にて開催しました

新都市社会技術融合創造研究会は、社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として、平成14年度に設置され、産・学・官の連携によって様々な技術研究プロジェクトに取り組んでいます。

○研究の成果を、広く皆様に発表する場として「新都市社会技術セミナー」を開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点より、関係者でweb会議にて開催し発表の模様を当研究会のホームページにてオンデマンド配信することいたしました。

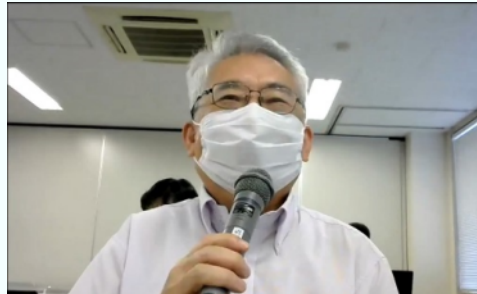
- ◆配信期間 令和3年10月11日(月)13:00～11月10日(水)17:00
- ◆配信URL <https://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/>
※上記ホームページの「新着情報」よりアクセスして下さい

大西委員長 開会挨拶



○日頃より熱心に研究を進められており、本日まで深く検討された結果を発表頂きますので関心の深いテーマに対して今後の進展へのアドバイスとなるようご意見を頂きたい。

小林副委員長 閉会挨拶



○研究の成果は実装へ向けて継続したフォローアップが求められる。また、研究された技術が必要な局面で、これまで積み上げられた成果を展開できるよう期待したい。

【プロジェクトへの質問について】

各プロジェクトの発表に対する質問は、令和3年11月10日(水)まで下記メールアドレスにて受け付けます。回答は、質問者へメールにてお送りします。

<mail: kkr-ls-gijyu02@mlit.go.jp>

質問書の様式は、新都市社会技術融合創造研究会のホームページに掲載しています。

～講演プログラム～

閉会挨拶 大西 有三 委員長(京都大学 名誉教授)

講演1 トンネル点検支援技術の高度化に関する研究

プロジェクトリーダー 石川 貴一朗(日本工業大学 基幹工学部 准教授)

講演2 ETC2.0プローブ情報を活用した渋滞要因分析システムの開発に関する研究

プロジェクトリーダー 宇野 伸宏(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演3 土壌水分を考慮した斜面監視システムの実装

プロジェクトリーダー 岸田 潔(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演4 長大橋の観測データの活用による維持管理支援システムの検討

プロジェクトリーダー 金 哲佑(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演5 既設橋梁における高力ボルト継手の実態調査と安全性評価及び点検、補修方法の検討

プロジェクトリーダー 山口 隆司(大阪市立大学大学院 工学研究科 教授)

閉会挨拶 小林 潔司 副委員長(京都大学 経営管理大学院 特任教授)

※講演5はプロジェクトメンバーによる発表

主催：新都市社会技術融合創造研究会

< <https://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/> >

【お問い合わせ先】新都市社会技術融合創造研究会事務局

住所：大阪府枚方市山田池北町11-1 近畿技術事務所内

TEL：072-856-1941(代表)

mail：kkrls-gijyu02@mlit.go.jp